

【東京都と全国との比較】

1 幼稚園

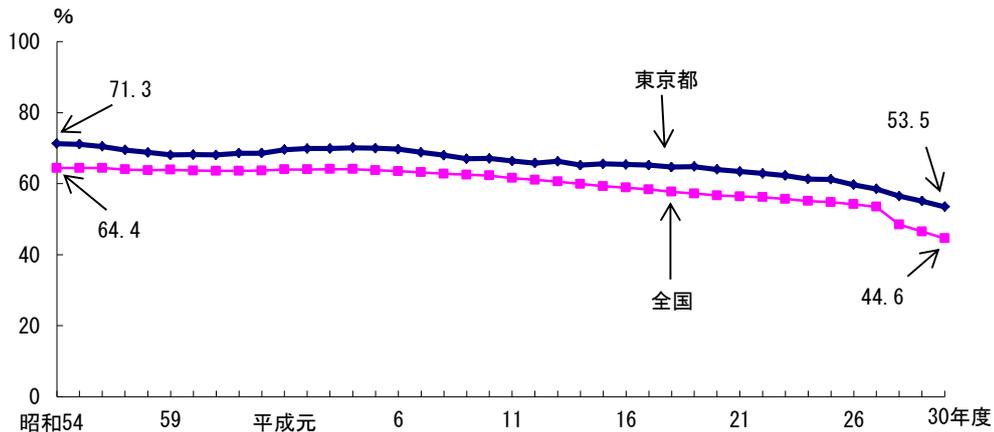
(1) 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合

① 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合について、昭和54年度からの推移をみると、東京都の割合はすべての年度で全国を上回っている。

② 平成30年度の東京都の割合は53.5%で、全国との差は8.9ポイントとなった。

(全国との比較 図1、付表I 2-3)

全国との比較 図1 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合の比較



注1) 幼稚園修了者数は各年3月修了者、小学校及び義務教育学校第1学年児童数は各年5月1日在籍者
2) 平成27年度以前は、小学校第1学年児童数のみ

2 小学校

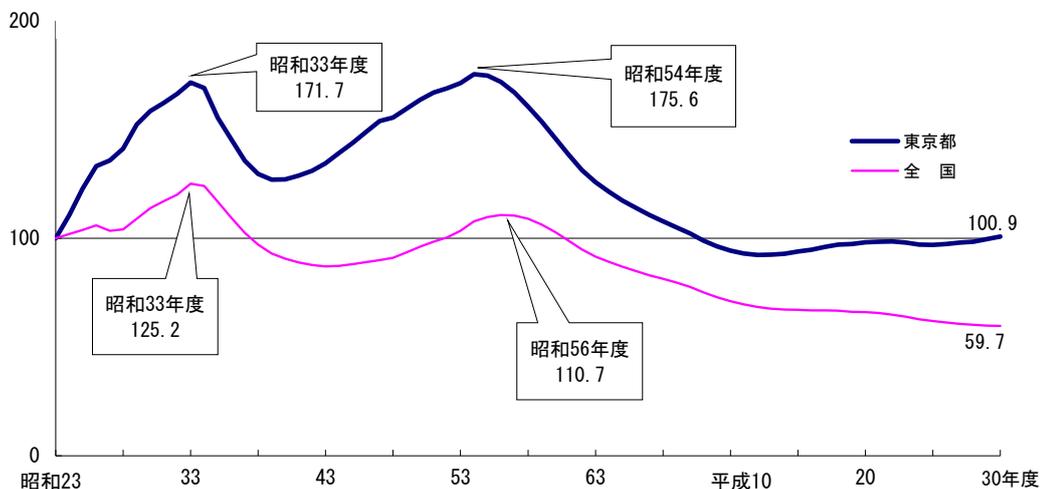
① 小学校児童数について昭和23年度を100とした指数でみると、第1次ベビーブームによる小学校児童数の東京都のピークは、全国と同じ昭和33年度で171.7となっており、全国の125.2を46.5ポイント上回っていた。

② 第2次ベビーブームによる小学校児童数のピークをみると、東京都は昭和54年度で175.6となっており、全国より2年早くピークを迎えている。

③ 平成30年度の東京都の指数は、100.9で、全国との差は41.2ポイントとなった。

(全国との比較 図2、付表I 2-4)

全国との比較 図2 小学校児童数の比較 (昭和23年度 = 指数100)



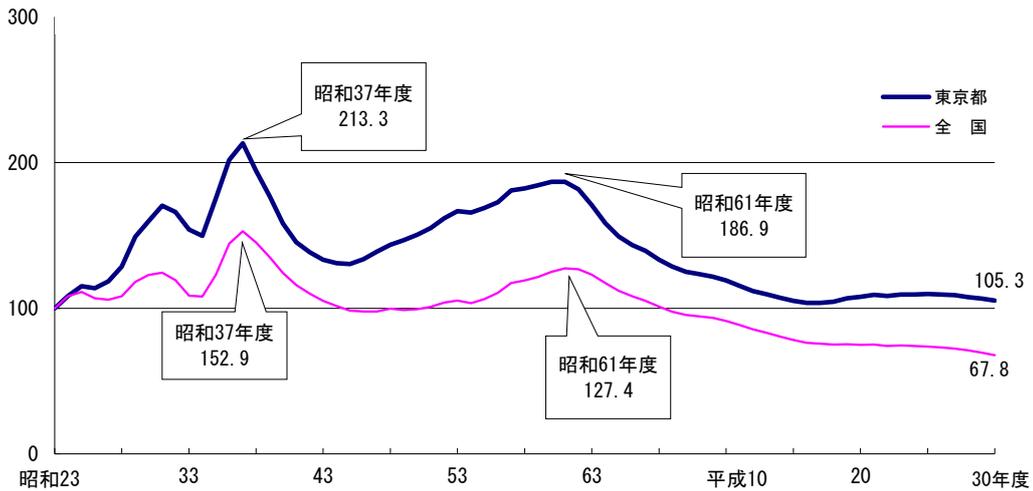
注) 昭和23年度の児童数を100として各年度の児童数を指数化している。

3 中学校

- ① 中学校生徒数について昭和 23 年度を 100 とした指数でみると、第 1 次ベビーブームによる中学校生徒数の東京都のピークは、全国と同じ昭和 37 年度で 213.3 となっており、全国の 152.9 を 60.4 ポイント上回っていた。
- ② 第 2 次ベビーブームによる中学校生徒数のピークをみると、東京都は全国と同じ昭和 61 年度で 186.9 となっており、第 1 次ベビーブームによる中学校生徒数のピークと比べ 26.4 ポイント下回っていた。
- ③ 平成 30 年度の東京都の指数は、105.3 で、全国との差は 37.5 ポイントとなった。

(全国との比較 図 3、付表 I 2-4)

全国との比較 図 3 中学校生徒数の比較 (昭和23年度 = 指数100)



注) 昭和23年度の生徒数を100として各年度の生徒数を指数化している。

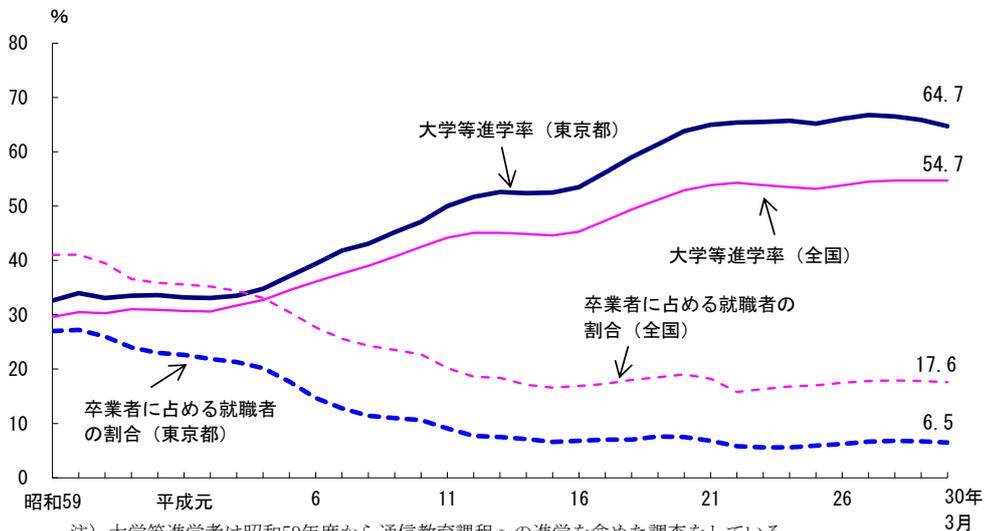
4 高等学校 (全日制・定時制)

(1) 進学率・卒業者に占める就職者の割合

- ① 東京都の大学等進学率はすべての年度で全国を上回っており、平成 30 年 3 月の大学等進学率は 64.7% で全国を 10.0 ポイント上回った。都道府県別にみると、東京都は京都府に次いで第 2 位であった。
- ② 平成 30 年 3 月の東京都の卒業者に占める就職者の割合は 6.5% で、全国を 11.1 ポイント下回った。都道府県別にみると、東京都は最も割合が低く、第 47 位であった。

(全国との比較 図 4、付表 I 2-2、2-7)

全国との比較 図 4 高等学校卒業者の大学等進学率及び卒業者に占める就職者の割合の比較

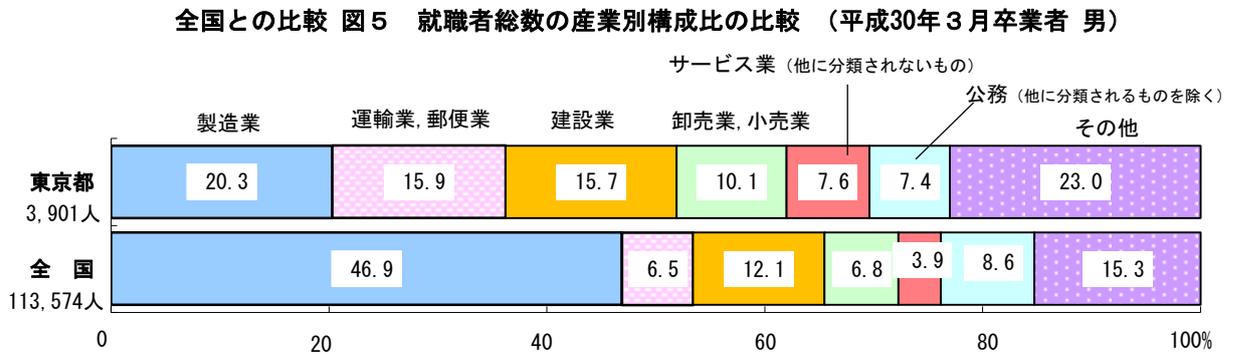


注) 大学等進学者は昭和59年度から通信教育課程への進学を含めた調査をしている。

(2) 就職者総数*の産業別構成比

① 高等学校（全日制・定時制）卒業者について男子就職者総数の産業別構成比をみると、東京都では「製造業」が20.3%で最も多いが、全国の46.9%と比べると26.6ポイント下回っている。一方、「運輸業、郵便業」は15.9%、「建設業」は15.7%で、それぞれ全国を上回っている。

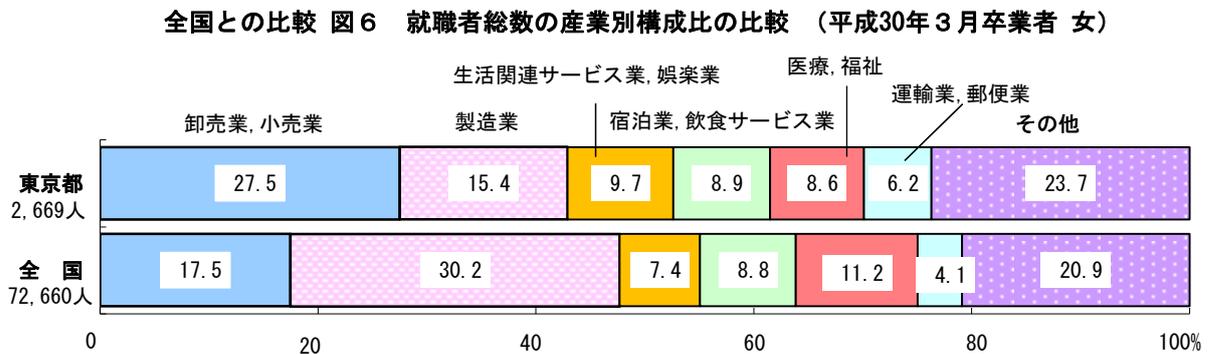
(全国との比較 図5、付表I 2-5)



注) その他：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉等

② 高等学校（全日制・定時制）卒業者について女子就職者総数の産業別構成比をみると、東京都では「卸売業、小売業」が27.5%で最も多く、全国の17.5%を10.0ポイント上回っている。一方、「製造業」は15.4%で、全国の30.2%を14.8ポイント下回っている。

(全国との比較 図6、付表I 2-5)



注) その他：建設業、情報通信業、学術研究、専門・技術サービス業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されるものを除く)等

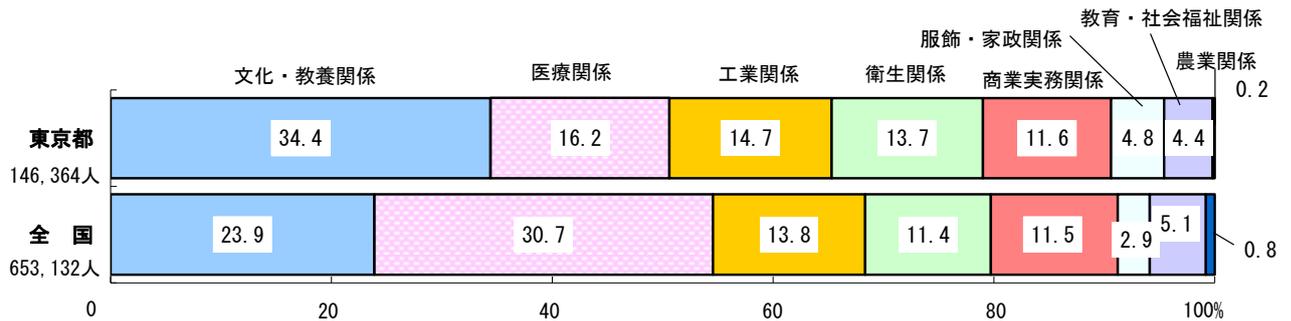
※ 就職者総数には、大学等進学者、専修学校（専門課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者、公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者を含む。

5 専修学校

- 平成30年度の東京都の専修学校生徒数は146,364人で、全国の生徒数653,132人の22.4%を占めている。
- 専修学校生徒数を分野別の構成比で見ると、東京都は「文化・教養関係」が34.4%で最も多く、全国の23.9%を10.5ポイント上回った。一方、「医療関係」は16.2%で、全国の30.7%を14.5ポイント下回っている。

(全国との比較 図7、付表I 2-6)

全国との比較 図7 専修学校生徒数の分野別構成比の比較 (平成30年度)



6 各種学校

- 平成30年度の東京都の各種学校生徒数は26,605人で、全国の生徒数123,275人の21.6%を占めている。
- 各種学校生徒数を分野別の構成比で見ると、東京都は「その他(外国人学校)」が58.2%、「文化・教養関係」が32.8%となっており、この2つの分野で全体の9割を超えている。全国は「その他(自動車操縦)」が26.7%で最も多く、「その他(外国人学校)」が26.3%、「文化・教養関係」、「その他(予備校)」が15.7%の順となっている。

(全国との比較 図8、付表I 2-6)

全国との比較 図8 各種学校生徒数の分野別構成比の比較 (平成30年度)

